

社員の自発的な動きで、メンタルヘルス不調になる社員が減った！ メンタルヘルスにおけるワーキンググループの活動

来年、当社は設立20周年を迎えます。IT企業はメンタルヘルス不調になる社員が多いと言われていますが、当社も会社が成長し、社員が増えてきた頃に調子を崩す社員が出始めました。会社としても、毎月産業医による面談が可能な環境を用意するなど、対策を講じてきました。しかし、メンタルヘルスにおいては1次予防、未然防止が重要とされている中で、その動きが十分とはいえない状況にありました。

そのような時、職場の仲間が健やかに生き生きと働くことができるように、何かできることがあるのではないかと、ある社員が立ち上がり、メンタルヘルスのワーキンググループを発足させました。ワーキンググループでは、社内、お客様先での社員の様子を共有したり、残業が多い社員、疲れて見える社員について情報を持ち寄り、自分たちで何か出来ることが無いかを考え、取り組んできました。また、全社員に向けてメンタルヘルスに関する情報を発信し、メンタルヘルスに少しでも関心を持ってもらうような動きも取ってきました。メンタルヘルスチェックの受診率の高さなどは、これらの成果の1つと言えると思います。

また、新入社員へのフォローを充実させたいと考え、相談会もスタートさせました。マネージャーやプロジェクトリーダーといった直接の上司、先輩には言いにくいことは意外とあるものです。そして、それらがメンタルに大きな影響を与えることは少なくありません。細かいこと、ささいなこともしっかりと聴いてあげられるような雰囲気づくりを重視し、仕事のこと、時にはプライベートのことまで様々な話を聴かせてもらっています。

ある時点では、約11%の社員がメンタルヘルスに何らかの問題を抱えていました。ワーキンググループの発足後は、新たに調子を崩してしまって休職に至った社員は出ておりません。もちろん、働き方や職場環境を改善したり、産業医に定期的に健康セミナーを実施してもらうなど、会社全体で様々な取り組みを行ってきたことも要因の1つと言えると思います。それと共に、自主的に集まり、様々な共有を行い、それだけに留まらず、普段から社員を気に掛け、声掛けをするなどのワーキンググループの活動が、大きな成果に繋がったと考えています。

本件に関する
お問い合わせ先

株式会社バルキー・インフォ・テック 経営統括本部サーバント推進部

E-mail : mng_unify_servant@bulky.co.jp

TEL : 03-5292-0971 FAX : 03-5292-0989

URL : <https://www.bulky.co.jp/>